

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年2月6日(2020.2.6)

【公開番号】特開2019-17499(P2019-17499A)

【公開日】平成31年2月7日(2019.2.7)

【年通号数】公開・登録公報2019-005

【出願番号】特願2017-136490(P2017-136490)

【国際特許分類】

A 6 1 G 12/00 (2006.01)

G 0 6 Q 50/22 (2018.01)

【F I】

A 6 1 G 12/00 Z

G 0 6 Q 50/22 Z J P

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月17日(2019.12.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象者の生体状態を検出する生体センサと、

前記対象者の声を検出する音センサと、

を備え、

前記生体状態及び前記声の少なくともいずれかに基づいて推定された前記対象者の感情状態に応じて変化する、視覚情報及び聴覚情報の少なくともいずれかを含む出力情報を提供する療養支援システム。

【請求項2】

前記生体センサにより検出された前記生体状態が異常状態と判定されたら、前記声の検出が開始される、または、前記感情状態の推定が開始される、請求項1記載の療養支援システム。

【請求項3】

前記対象者の要支援状態をさらに知らせ、

前記要支援状態は、前記生体状態及び前記声の少なくともいずれかに基づいて推定され、

前記要支援状態は、前記対象者の、健康状態の悪化、不穏、排泄、褥瘡、及び、転落可能性の少なくともいずれかを含む、請求項2記載の療養支援システム。

【請求項4】

音発生部をさらに備え、

前記音発生部は、前記対象者への質問及び呼びかけの少なくともいずれかの内容を含む音声を発生し、前記内容は、前記対象者の健康安全状態に関係し、前記内容は、前記生体状態及び前記声の少なくともいずれかに基づいており、

前記音センサは、前記音声の前記発生の後の前記対象者の別の声をさらに検出し、

前記感情状態は、前記別の声にさらにに基づいて推定された、請求項2または3に記載の療養支援システム。

【請求項5】

前記対象者との会話の内容に関する案をさらに提供可能であり、

前記内容は、前記対象者の健康安全状態に關係し、

前記案は、前記生体状態及び前記声の少なくともいずれかに基づいている、請求項2～4のいずれか1つに記載の療養支援システム。

【請求項6】

前記音センサは、前記対象者の支援者の声、及び、前記支援者の前記声に応じて発生された前記対象者の別の声をさらに検出し、前記支援者の前記声は、前記案の少なくとも一部に基づく内容を含み、

前記感情状態は、前記別の声にさらにに基づいて推定された、請求項5記載の療養支援システム。